



## 言語・コミュニケーションプログラム

言語やコミュニケーションの理論を  
重点的に学ぶ

The study of Intercultural Communication (ICC) is foundational in Language and Communication Program because of culture's strong influence on language use and communication style. ICC prepares language learners to develop a critical awareness of how their own communicative patterns influence communication with people from other cultures. ICC is an interdisciplinary field, drawing from anthropology, linguistics, psychology, and communication studies all of which are important for language learners. ICC helps learners to overcome the communicative disadvantages they face in real communication across cultures.



Lingley Darren (リングリィ ダレン) 教授  
(カナダ出身)

【専門分野】 異文化間コミュニケーション  
【研究テーマ】 異文化間コミュニケーション・英語教授法  
【学位】 修士 (文学)  
【著作】 『A Task-based Approach to Teaching a Content-based Canadian Studies Course in an EFL Context』 (単著)  
『Apologies Across Cultures: An Analysis of Intercultural Communication Problems Raised in the Ehime Maru Incident』 (単著) 他多数

### 学べる科目

日米異文化間コミュニケーション論、日欧異文化間コミュニケーション論、英語オーラルコミュニケーションⅠ・Ⅱ、英語パブリックコミュニケーション中級・上級、音声学、英語音声学、第二言語習得論基礎論、第二言語習得論、言語・コミュニケーション論演習、ドイツ語オーラルコミュニケーション中級・上級、フランス語読解研究

### 進路、就職先

【企業等】 ANA福岡空港、エイチ・アイ・エス、関西エアポートエージェンシー、キャセイパシフィック航空、三景、スズキ、西鉄エアサービス 【公務員・教員】 鳥取県警察、高知市役所、延岡市役所、香川県教育委員会、中学校・高等学校教員 【大学院進学】 広島大学大学院、岡山大学大学院、高知大学大学院

卒業生からの  
メッセージ



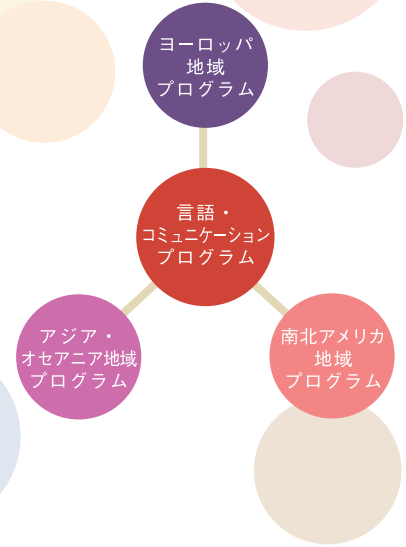
瀧川学園 滝川中学校高等学校 教員  
阿曾 佑也さん

(兵庫県出身、東洋大学附属姫路高等学校卒業)

現在、中学2年生と高校2年生に英語を教えています。教育現場において、英語教員に求められる資質はとても幅広いように感じます。言語の知識はもちろん、高いコミュニケーション能力も求められます。本プログラムでは、そういった資質を養うための環境が整っています。その環境を活かし、何事にも貪欲にチャレンジしていきましょう。

プラットフォームと各プログラムの相性

言語やコミュニケーションを学ぶ上で、言葉の実際の運用能力を高めるのはもちろん大切なことです。それとともに、言語とつながりのある文化や、自分とは異なる他者に目を向けることによってこのプログラムでの学びはいっそう深まります。プラットフォーム科目の哲学や心理の授業、さらに総合文化プログラムに置かれている多くの授業は、異文化としての他者という見方を育むもので、この言語・コミュニケーションプログラムとは密接に結びついています。



ゼミ紹介

ゼミの概要

Language research themes: analysis of authentic spoken texts, assessment of spoken language, listening, development of writing skills through process/genre approaches.

ICC research themes: pragmatics, language use in context, cross-cultural interaction, and comparative culture.

ゼミの雰囲気

This seminar engages students in small-scale research projects related to intercultural communication, comparative culture, and English language education. Special focus is given to analysis of authentic spoken texts, and development of academic and genre-specific writing skills.

ある3年生の「言語・コミュニケーションプログラム」時間割

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限		ドイツ語オール コミュニケーション中級			
2時限			日米異文化間 コミュニケーション論	第二言語習得論	
3時限		ドイツ語読解研究			ヨーロッパ社会文化論
4時限					英語読解研究演習
5時限	TOEIC英語	ゼミナールⅢ		近代社会論演習	